



月2回刊=1606号  
2022年7月30日 発行  
発行日 毎月15日30日  
発行所  
盛岡市内丸10番1号  
岩手県庁内  
岩手県職員労働組合  
印刷所  
盛岡市上田二丁目17-4  
有限会社 ジョー印刷企画  
一部 40円  
組合員購読料は組合費に含む

# 安心して働ける定年延長求め交渉スタート

## 7割の働き方・わかりやすい説明求める



▲24,000人の県職員代表として円滑な移行を求める地公共闘

7月22日、岩手県地方公務員共闘会議(議長代行・村上智加子(高教組))は、9月議会に条例提案予定の「定年年齢の段階的に引上げ」について、加藤人事課総括課長と交渉を行い、基本的考え方について質した。  
同日、県職労も加藤人事課総括課長と交渉を行い、円滑な導入と働きやすい労働環境を求めた。地公共闘は8月1日、県職労は8月5日の総務部長交渉で具体的な回答を求める。主な交渉結果は次のとおり。

### 役職定年

特別調整額(管理職手当)が支給される職員とそれに準じる職員(主幹や技術主幹等の行政職6級相当以上の総括課長級の職等)を対象に、役職定年後、管理職以外の職(主任主査級の一担当者想定)に降任。マネジメントする職は現役職員が担う。

### 60歳以降の職務内容

職員が経験してきた分野、専門知識等を聴き取りしうえて、職員の希望も

できる限り考慮しながら、職員の専門知識や経験を活かせる業務、若手・中堅職員を支援する業務、管理職のサポートの役割を担う業務などを想定している。  
新規採用者の計画的確保  
国の通知にも「質の高い

## 職場実態踏まえた人員確保を

### 人事課総括課長へ要求書提出



▲加藤人事課総括課長に要求書を手渡す小田嶋委員長(左)

7月13日、県職労は知事あて人員確保要求書を加藤人事課総括課長に提出し、業務実態に見合う人員確保を求め交渉を行った。要求書には分会基礎調査(中間集計)の結果を踏まえ人員不足の実態を伝え改善を求めた。併せて、任期付職員の任期の定めのない選考採用枠拡大と勤務実績を考慮した採用を求める要請書を提出し、適切な対応を求めた。

### 高齢者部分休業

高齢者部分休業制度は、加齢による諸事情への対応、地域貢献等を理由に一部の勤務時間を勤務しないことを認めるもの。意見を踏まえ、制度導入について検討を進めていきたい。

### 55歳超職員の昇給確保

定年引上げ後は、現行再任用と比べ年収100万円程度増額となる。これと併せ、これまでと同様に、勤め手当評価における配慮など、それぞれの職制や職種に応じた取り組みを行って

### 再任用職員の処遇改善

これまでも勤務条件に違いがあったものであり、段階的に引き上げる間に2つの制度が混在することは段階的な移行を行う際は必ず生じること。ご理解いただきたい。



▲同日に県職労も交渉し独自課題を追及

不足を訴えてきたが、各所属の人員要求数を見ると状況は改善されておらず、特に、長期化するコロナ対策の最前線で奮闘する保健所職場では、保健師のみならず事務職員も不足しており、長時間労働の解消、心身の健康保持について早急な対策が必要と強く求めた。加藤人事課総括課長は、「各振興局を訪問のうえ、直接ヒアリングしているほか、担当部局を通じて職場の状況を把握したうえで人員配置を検討している。保健所の人的体制の強化については、本庁と各振興局が連携して全庁的な業

務支援を取り組んでいるほか、マンパワー不足に備えた48人のバックアップ体制により保健所業務が円滑に進むよう支援していく」との見解を示した。交渉団からは、「バックアップ体制が十分機能しているとはいえない。実効力のある対策を」と強く求めた。

### 【会計年度任用職員課題】

事業予算の縮減に伴い、職場で必要とする任用数を大幅に削減される事態が生じており、結果として一般職員の負担増につながっている実態を訴え、職場実態を踏まえた任用予算の確保を求めたのに対し、「業務

の状況を適切に把握しながら適正な人員確保に努める」との見解を示した。  
【任期付職員課題】  
今年も募集数が少ないことを指摘し、採用枠拡大を求めたのに対し、県の業務を経験した貴重な即戦力であると認識しつつも、「採用予定数に関しては、退職者やその他の採用試験の採用予定数を勘案して決定する」との見解を示すにとどまった。

### 【交渉の締めくくり】

小田嶋委員長から、コロナは、復興時の緊急性と違い、ゴールが見えない中で緊急的対応は精神的負担

## 花巻市議選 若林よしあき 5期当選果たす

7月17日告示・7月24日投票の花巻市議選(定数26人、立候補者31人)で、県職労推薦候補の「若柳よしあき」(73歳・現4期・社会民主党)さんは、910票を

獲得し当選を果たした。若柳よしあきさんは、「皆様のご支援に感謝したい。これから、市民との絆が結ばれるよう、これまで以上に市民と接していく。喫緊では、価格が高騰する飼料の問題、空き家対策など、市が対策を講じていかなければならない。引き続き皆さんの期待に添える活動を進める」と決意しました。

▲5期目当選の若柳よしあき花巻市議

が大きい。それが仕事のミスにつながり、職員の処分に行くようでは精神的に持たない。解決方法は物理的な人員の課題であるとし、積極的な検討と前向きな回答を求めた。加藤人事課総括課長は、「コロナ対策に關しては、恒常的業務は適切に人員増を含め検討していく」とした。

### 【今後の取り組み】

当局の組織・定数の検討時期を見据え、支部・評議会など、職場課題を現場からしっかりと要求することから重要となることから、取り組み強化をお願いする。

私は大勢の前で話すことが苦手だ。というより今までそのような場面に直面したことがあまりない。そんな時にある集會に参加し、その時の講師の言葉が自分の中で印象に残ったので紹介したいと思う▼大勢の前で話ができる人は話をするのが好きか慣れているイメージがある。しかし、集會の中で講師は「人前で話をするときは話し方の上手い人の真似をして」とおっしゃっていた。なるほどと思った。例としてタモリさんや学校の先生が挙げられ、真似をすることにより自然と話ができるようになる

のこただ。「真似ることは学ぶこと」という言葉を誰かが言っていたことをふと思い出して実際に試したことがあり、緊張はしたが自然と話ができたと話の上手い人の真似をする以外にも聞き手の年齢層や理解度に合わせ、伝えやすい言葉選びや話の「間」の使い方を工夫することで引き込まれる話の仕方に近づき、自然と大勢の前で話ができるようになるのではないだろうか▼話し上手への第一歩として、有名人や周りの話し方が上手な人を見つけ、真似をすることから始めてみようと思う。

# 保健指導239増・精神疾患者114過去最多 増える長期療養者 対策急務

## 畜産 衛生面と健康面に配慮を

7月21日、2022年度第1回職員安全衛生管理委員会が開催され、2021年度の健康管理状況と、2022年度の取組について協議した。

### 長時間労働の保健指導

2021年度の長時間労働の保健指導対象者数は、634人(前年度395人)と大幅に増加した(表1参照)。事務局は「コロナ関連業務増加によるもの。長時間勤務は職員の健康障害の要因となるだけでなく、仕事と生活の両立実現に大きな障害要因となる。長時間労働による疲労蓄積等職員及び産業界の保健指導の

### 長期療養者の状況

14日以上の長期療養者は2021年度179人、そのうち精神疾患が114人に上り依然として高い状況にあり、療養日数も長期化している。職場復帰後の再発も見受けられる(表2参照)。事務局から、「特に若年層の職員の割合が増えていることから、健康相談会や交流会などの機会を捉え、必要なサポートができ

る体制を継続していく必要がある」とした。

### 県職労委員発言

「精神疾患者増加の最大の要因は長時間労働であり、この解消が急務。保健指導や相談体制の継続もさることながら、根底の要因といえる長時間労働の解消こそ不可欠」と指摘し、実効ある対策を求めた。

農業研究センターの予算上限等により、コロナ対策用消毒液の購入が困難なこと、冷房設備の稼働制限が強いられる実態が挙げられた。

畜産研究所の乳牛舎では、今も男女共同トイレであり、

## 野中やすし 議会報告

### 推薦ありがとうございます

県職労の皆様におかれましては、日頃よりご指導とご支援を頂いていることにごより感謝申し上げます。また、来夏の盛岡市議会議員選挙に組織内候補としてご推薦頂きましたことに重ねて御礼申し上げます。さて、先の参議院選挙で

は、県職労の皆様には、ご支援を頂いて自治労組織内「鬼木まこと」を当選させることができました。しかし、選挙区で苦杯を喫し、改選勢力が三分の二超の議席を獲得し、大変厳しい結果となりました。現在、新型コロナウイルス感染症

は第七波に突入し、本県でも急激に感染者が拡大しています。また、ガソリンなどの「異次元」の物価高によって、国民生活はより一層厳しさを増しています。一方、県の職場も慢性的な人員不足が続く中、「定年延長」の課題や「会計年



野中やすし議員の議会報告の様子

表1 2021年度 長時間労働による健康障害防止の保健指導状況

	保健指導対象者		
	延数	前年同期	増減
本庁	351	313	38
盛岡	26	20	6
花巻	95	11	84
遠野			0
北上	31	7	24
県南本局	18	5	13
一関	46		46
大船渡	13	8	5
釜石	6	1	5
宮古	8	7	1
岩手	1	8	▲7
久慈	15	1	14
二戸	8		8
環境研	16	14	2
合計	634	395	239

※農大、水技、産技短、福祉総合、農研、畜産研究所は「対象者なし」。

女性職員への配慮として男女別トイレへの改善が必要であること。また、詰所(休憩所)においては、畜舎内に設けられた詰所で大量のハエが飛び中での昼食、室温が40度にも昇る詰所の実態から、衛生面、健康被害対策に冷房設備の設置が必要との意見が挙げられた。

事務局は、各委員の発言を議事録にし、各地区に伝え検討を求めるとした。県職労では、職員の健康保持と労働安全衛生の観点から課題を当局に訴え、改善を求めていく。各支部も

## 身近な支部活動の実現を

### 胆江支部で定期大会開催

「胆江支部定期大会」は7月20日、32人が参加するなか開催された。



▲胆江支部定期大会の様子

「組合員は必要な組織、みんなが声を上げないと何も改善されない。身近な支部活動実現のため、支部組織づくりを取り組んでいきたい」とあいさつ。その後、小田嶋中央執行委員長から、先日行われた参議院議員選挙闘争に対し感謝を述べた。また、定年延長に向けた労使協議の状況報告と連帯の挨拶を行った。激励に駆け付けていただいた組織内、盛岡市議会議員の「野中やすし」さんから、

来夏の盛岡市議会議員選挙に向けた決意が話された。議事では佐藤書記長から、運動前進を誓い合った。

表2 精神疾患による療養状況の推移

内訳		2017	2018	2019	2020	2021
療養総人員		57	78	106	110	114
療養総日数		6,779	9,343	12,017	11,812	15,186
療養平均日数		118.9	119.7	113.4	107.4	133.2
療養実人員		52	72	100	98	106
年齢	29歳以下	15	21	30	25	36
	30歳代	7	13	20	20	22
	40歳代	17	23	28	38	31
	50歳以上	13	15	22	15	17
性別	男	38	52	75	80	69
	女	14	20	25	18	37
地区	本庁	18	27	34	36	33
	出先	34	45	66	62	73

## ◆詳細は各支部へお問い合わせください◆

自治労共済生協組合員の皆様へ

# 訴えられるなんて...

組合員の皆様に、安心して公務に従事していただくための保険です。

## 公務員賠償責任保険制度

組合員からの直接のご相談にも応じます。  
連絡先: 自治労サービス  
0120-786-756  
(平日9:00~17:30)

わたしの おすすめ ランチ

一関支部編  
一関土木センター  
宮川 祐嗣さん

7月22日のイベント定食 (850円)  
(この日はウナギ丼定食でした!)

5月にリニューアルした一関合庁の食堂を、ほぼ毎日利用しています。日替わり定食がAとBの2種類から選べますが、どちらも美味しそうなので迷ってしまいます。栄養バランスもよく、ご飯も大盛やおかわりが自由なので、がっつり食べたい方にもオススメです。ぜひ、一関に来た際には食べてみてください。

▲宮川祐嗣さん(左)と合川義幸さん(右)